

令和5年度学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス 講座仙台学2024
 ー仙台に関する講座ー 開講科目概要

○対面講座

No.	開講日時 (すべて土曜日)		講座名◎講師名	概要	費用	定員	会場	実施大学
1	1月20日	10:30 ～ 12:00	仙台藩四代大名綱村は、偉人が奇人か ◎宮城学院女子大学 名誉教授 モリス、J.F.(モリス・ジェイ・エフ)	不行跡により1660年に父綱宗の強制隠居の跡を赤子として継いだ亀千代は、伊達の家と家臣一同の期待を背負って、名君となるべく育てられた。1674年に綱村(亀千代)が親政を開始すると儒学で説く理想の君主たるべく、人材登用と厳格な賞罰の併用で藩をたてなおそうとした。だが、そのやり方がどこか変。1697年に重臣が綱村を乱心と断じて、彼の隠居を内密に幕府に願ひ出る。理想の君主の凋落はいかに。	無料	50名 (先着)	仙台市市民活動サポーターホール	宮城学院女子大学
2	1月20日	13:30 ～ 15:00	仙台藩の参勤交代 ～教科書には載っていない参勤交代の真実～ ◎東北文化学園大学 地域連携センター 特任教授 渡邊 洋一(わたなべ よういち)	参勤交代の制とは、諸大名の妻子の江戸在府制(江戸藩邸の経営)と共に江戸幕府の根幹をなす制度である。この制度については従来、諸大名の経済的負担のみが強調されていたが、本当のところはどうなのだろうか。読み解いていく。	無料	50名 (先着)	東北文化学園大学	東北文化学園大学
3	2月10日	10:30 ～ 12:00	仙台 理化学研究所・30年の研究とテラヘルツ光 ◎理化学研究所 チームリーダー 南出 泰亜(みなみで ひろあき)	現在、仙台の理化学研究所(理研)は、電波と光波の間にあるテラヘルツ光に関する最先端研究を20年以上実施しています。仙台理研の設立は、理研フロンティア研究の地域展開の第1号として1990年に光科学に関連するフォトダイナミクス研究が発足したことを端緒としており、東北大学との研究連携や学生育成を通じ、仙台から世界にその成果を発信しています。これまでの活動を紐解きながら、最先端テラヘルツ光研究の成果を広く紹介する機会としたいと思います。	無料	50名 (抽選)	東北大学 社会連携スペース	理化学研究所

○ハイブリッド講座

4	2月10日	13:30 ～ 15:00	カーボンニュートラルと再生可能エネルギー in 仙台 ◎東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授 村松 淳司(むらまつ あつし)	2050年カーボンニュートラルへの道がひかれ、官民学をあげて、CO2排出量実質ゼロに向けた取り組みがなされており、再生可能エネルギーの導入は必須です。小水力、バイオマス、太陽光や風力に隠れていますが、宮城県では大きく貢献しそうなのが、地熱エネルギーです。仙台市内では、秋保、作並という温泉があり、仙台の北には東北最大の温泉郷、鳴子温泉があり、ここには鬼首地熱発電所もあります。講座では、身近な取り組みから新たな再生可能エネルギーまで解説します。	無料	ハイブリッド 150名(対面50名、 オンライン100名) (先着)	東北大学 社会連携スペース	東北大学
---	-------	---------------------	---	--	----	---	---------------	------